

第45回日本公認会計士協会学術賞受賞作品

本賞は、平成27年10月1日から平成28年9月30日までの間に発刊された著書（初版）及び同期間中に発表された論文の中から優れた作品に授与しているものです。

第45回学術賞の審査に当たっては、応募のあった40作品について学術賞運営委員会にて厳正に審査を行い、次の作品に学術賞を授与することといたしました。

選定作品

学 術 賞〈著書2点〉

『税法上の配当概念の展開と課題』

こづか まさひろ
小塚 真啓 著

（株式会社成文堂／平成28年3月刊）

『イノベーション・マネジメント

ープロセス・組織の構造化から考える』

やしろ ともなり
野城 智也 著

（一般財団法人東京大学出版会／平成28年5月刊）

【参考】

学術賞は、協会学術賞基金資産運営要領第4条に基づき、顕彰するものである。

◆関係条文

- 第4条 本会は、広く、会計、監査、税務、経営及び公会計等の学術の発展に寄与し、公認会計士の業務の向上に資すると認めた優秀な著書又は論文等に対して学術賞を授与し、これを顕彰する。
- 2 前項の経営のうち、マネージメント・コンサルティング・サービス（以下「MCS」という。）業務の充実及び発展に寄与すると認めた優秀な著書又は論文等については日本公認会計士協会学術賞—MCS賞（以下「学術賞—MCS賞」という。）を授与し、これを顕彰する。
- 3 本会は、会員及び準会員の著書又は論文（未発表論文を含む。）等で、公認会計士の業務の向上に資すると認めた優秀なものに対し日本公認会計士協会学術賞—会員特別賞（以下「学術賞—会員特別賞」という。）を授与し、これを顕彰する。

以 上